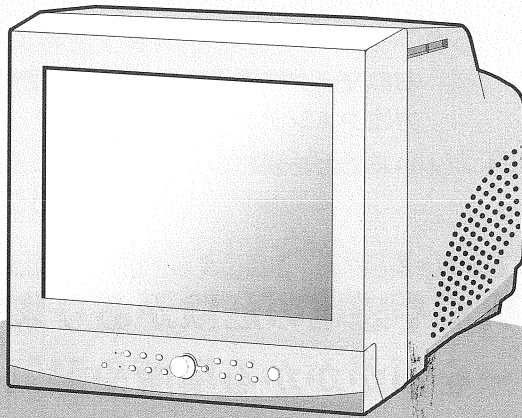


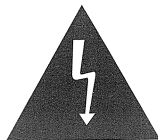

SAMSUNG

カラーモニター

SMO-150TRN
SMO-210TRN

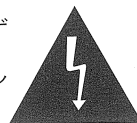
取扱説明書



	<p style="text-align: center;">警 告</p> <p style="text-align: center;">感電の恐れあり！ 開けないで下さい！</p>	
<p>警告：感電する恐れがありますので、カバーを開けないで下さい。 修理は正規の修理担当者へご依頼下さい。</p>		

記号の説明

右のマークは機器内部に絶縁処理が施されておらず感電の恐れのある「危険電圧箇所」の存在を警告し表示しています。



右のマークは機器を説明する文書の中で重要な操作方法やメンテナンス（サービス）指示が掲載されていることを表わしています。



警告 - 火災や感電の危険がありますので、モニターを雨がかかる場所や湿気のある場所に置かないで下さい。

安全にお使いいただくために

注意

電源の規格は機器の背面に記載されています。高電圧な部分が含まれており、カバーを開けると、火災や感電の恐れがありますので絶対にカバーを開けないで下さい。(コントロールスイッチはモニターの前面にあります。)

1. **説明書をお読み下さい**：機器を運用する前に本書をよくお読み下さい。
2. **説明書を保管して下さい**：本書は大切に保管して下さい。
3. **警告**：モニターに表示される警告、取扱説明書に記載された警告を遵守して下さい。
4. **説明書に従って下さい**：説明書の指示に従って設置、機能の設定などを行って下さい。
5. **清掃**：清掃する前にはコンセントからプラグを抜いて下さい。汚れたら液体洗剤やエアゾール洗剤は使わず、乾いた布で拭き取って下さい。
(例外) CATVコンバータの認証コードが失われる可能性があるなど、特別の理由で使用者がプラグを抜くことを想定していないモニターがありますのでご注意下さい。
6. **付属品**：弊社推奨以外の付属品を使用しないで下さい。故障の原因となることがあります。
7. **水気と湿気**：機器を水気の近く（例：浴槽・洗面台・流し台・洗濯機・湿気の多い地下・プールなど）で、このモニターを使用しないで下さい。

-
8. **付属器具**：不安定なカート・スタンド・机等の上に機器を置かないで下さい。機器が落下して傷害を与えたり、機器そのものに損傷を引き起こしたりする可能性があります。弊社が推奨するカート、スタンド、三脚、ブラケット、テレビ台等を使用して下さい。壁などにモニターを取り付ける場合は弊社が推奨する取付器具を使用して下さい。
 9. **換気**：キャビネットのスロットや開口部は、モニターが正しく作動するため、及び、過熱を防止するための換気に必要です。ベッド・ソファ・ラグなどの上において開口部を塞ぐことのないよう注意して下さい。また、暖房機や温風吹き出し口などの近くには、絶対置かないで下さい。適切な換気が行われていない、備え付けの本棚やラックにも置かないよう注意して下さい。
 10. **電源**：ラベルに表示されている定格電源にしたがって作動させて下さい。表示の内容がわからない場合は販売店または地元の電力会社にご相談下さい。
 11. **アース付電源プラグ**：電源プラグの形状に合う、コンセントに差し込んでください。コンセントの形状が合わない場合は電気工事業者に連絡して、新しいコンセントを取り付けて下さい。安全にお使いいただくためにプラグは加工しないで下さい。
 12. **電源コード**：電源コードは踏まれたり、上に物が置かれて圧迫されたりしないところに敷設して下さい。特にプラグ部のコード、コンセント、モニターのコード部に注意して下さい。

-
13. **雷**：雷が発生している際や、長期間お使いにならない場合は、雷や送電線からのサージ（＝電流・電圧の瞬時的に急増すること）を避けるため、電源、その他のケーブルを外しておいて下さい。
 14. **過負荷**：コンセントや延長コードに過電流を流さないようにして下さい。火災や感電につながる恐れがあります。
 15. **異物(液体)の挿入**：機器に異物を入れないで下さい。危険な電圧個所に触れたり、部品がショートしたりして火災や感電につながる恐れがあります。また液体を機器へこぼさないよう注意して下さい。
 16. **修理**：修理目的でカバーを開けないで下さい。感電やけがにつながる恐れがあります。修理・整備点検は正規の修理担当者までお問い合わせください。
 17. **要修理の故障**：次のような場合は速やかにプラグをコンセントから抜き、正規の修理担当者までご相談下さい。
 - a. 電源コード及びプラグが破損したとき。
 - b. 機器の中に液体をこぼした場合、または異物が機器内へ混入した場合。
 - c. 機器が、雨や水に濡れた場合。
 - d. 本書にしたがって作動させても機器が正常に動作しない場合。

取扱説明書にあるコントロールのみを調整して下さい。不適切な調整は故障の原因となり、機器を再び正常に動作させるため、専門技術者による高度な作業が必要となる可能性があります。
 - e. 機器を落としたり、キャビネットが損傷したりした場合。
 - f. 機器の性能が著しく劣化し、修理が必要になった場合。

-
18. **交換部品**：交換部品が必要になった場合、弊社の指定部品または同等性能部品かどうかを確認してご使用下さい。指定外の部品をご使用になると火災や感電等を引き起こす恐れがあります。
19. **安全確認**：機器の修理や点検を受けたときは、正規の修理担当者に、機器が正常に作動することを確認するようご依頼下さい。

目次

安全にお使いいただくために	3
第1章：概要	9
概要	9
機能と特徴	9
各部の名称とはたらき	10
第2章：設置	14
設置環境	14
開梱	15
第3章：外部機器への接続	16
1. タイムラプスビデオ（または家電用ビデオデッキ）への接続	16
2. アラームセンサーへの接続	17
3. ドアベルボックスへの接続	17
4. 通常モニターへの接続	17
第4章：基本的な使い方	18
1. 基本操作	18
2. Live/再生/TRIPLEX画面で見たい時	19
3. 全画面モードで見たい時	19
4. シーケンス画面モードで見たい時	19
5. 静止画面モードで見たい時	20
6. 拡大画面モードで見たい時	21
7. PIP画面モードで見たい時	22
8. VCR出力を見たい時	22
9. イベント再生画面を見たい時	23
10. ドアベル画面を見たい時	23

第5章：設定メニュー	24
1. 画面設定	25
2. 時刻／表示設定	25
3. カメラ設定	27
4. システム設定	34
5. イベントリスト	40
6. ドアベルリスト	40
第6章：録画	41
1. タイムラプスモード（または通常モード）で録画する	41
2. アラーム／モーションチャンネル中心の録画	41
第7章：アラーム、モーション、ロス、ドアベル	42
1. アラームの発生	42
2. モーションの発生	44
3. ロスの発生	45
4. ドアベルの発生	46
付録	
仕様	47
トラブルシューティング	47

第1章: 概要

概要

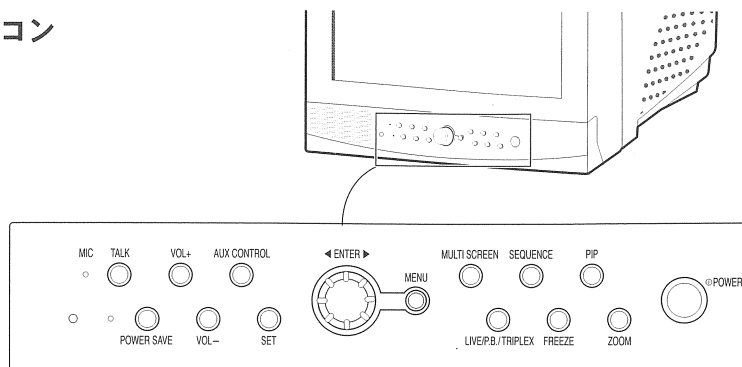
このモニターでは、8台までのカメラから受信した信号を1台のビデオデッキに録画することができるトリプレックス機能を持っています。映像信号をコマごとあるいは断続的に録画し、特定のチャンネルを選択して再生することができます。1台のモニターをLiveモード、再生モード、Liveプラス再生モードの3通りの画面モードで使用することができます。

機能と特徴

- ・メニューボタンを用いてさまざまな機能を設定します。
- ・8台までのカラーまたはモノクロカメラを接続できます。
- ・さまざまな分割表示モードで最大8台までのカメラからの映像を表示します。
- ・同じモニターでライブ画面と再生画面を同時に見ることが可能です。
- ・ズーム機能を用いて画面を2倍に拡大できます。
- ・モーションディテクター機能搭載のカメラに対応しています。
- ・スポット表示機能を用いてメイン画面内で特定の画面を監視できます。
- ・スリーブ表示機能を用いて追加モニター上で、同時にメイン画面を監視できます。
- ・フリーズ機能を用いて静止画モードで目的の画面を表示することが可能です。
- ・シーケンス・モードでチャンネルを順に切り替えて監視できます。
- ・非表示機能を用いてモニター上の映像を非表示にできます。
- ・リセット可能な日付・時刻・アラーム表示機能が搭載されています。
- ・アラームが発生すると、"イベント"の記号が画面上に表示され、警報音が鳴ります。イベントが発生した時に、ロータリースイッチの中央のENTERボタンを押すと、アラームが発生した前後の映像を最大16コマまでイベント再生ウィンドウに表示します。アラーム履歴はイベントリストに記録されます。(アラーム機能はアラーム・ボックスを接続した時にのみ利用できます。)
- ・チャンネルロス検出機能が映像のロスを検出すると、"イベント"の記号が画面上に表示され、警報音が鳴ります。映像のロスが発生した時に、ロータリースイッチの中央のENTERボタンを押すと、映像のロスが発生した前の映像を最大16コマ、イベント再生ウィンドウに表示します。チャンネルロス履歴はイベントリストに記録されます。
- ・ドアベルインターロック機能により、ドアベルを押すと現在の画面が全画面モードでドアベルエリア監視画面に切り替わり、警報音が鳴ると同時にドアベルリストに画像が保存されます。ドアベルリストには8枚までの画像を保存することができます。(ドアベル機能はドアベルと接続されている場合にのみ使用できます。)

各部の名称とはたらき

前面パネル／リモコン



A. 電源スイッチ

電源をオン／オフします

B. POWER SAVE

省電力モードへ変更します。

C. VOL+/-

音量を調整します。

D. TALK

二重モードでドアベルと通信します。

E. AUX CONTROL

指定された時間、リレーパルスを外機器へ出力します。このコントロールは使用する環境にあわせて調整できます。(例えば、AUX CONTROLボタンを利用することにより、ドアベルが鳴った時に対応するカメラを動かし、ドアを開ける前に訪問者を確認することができます。)

F. LIVE/P.B./TRIPLEX

表示モードを切り替えます。ボタンを押すごとに Live、再生、TRIPLEXの各モードに順次切り替わります。

G. SET

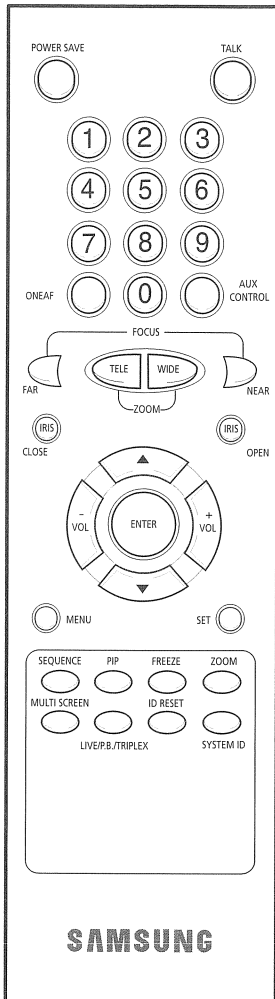
メインメニューから選択されたサブメニューへ入ります。

H. ロータリーホイール (LEFT, RIGHT, ENTER)

ロータリーホイールを左右に回して希望するメニューに移動します。

設定メニュー状態では設定値の変更に使います。

ズームイン画面を移動する場合、メニュー項目またはチャンネルをスクロールする場合などに用います。項目を選択して "ENTER" ボタンを押すとサブメニューに入ります。また、イベント再生もこのホイールから行います。



I. MENU

画面上に設定メニューを表示します。もう一度押すと、設定メニューを終了します。

J. MULTISCREEN

分割画面表示に切り替えます。ボタンを押すごとに4、8、9分割の順に画面が切り換わります。9分割および16分割はトリプレックスモードでのみ可能です。

K. SEQUENCE

全画面モードでこのボタンを押すと、指定された時間に応じて映像を自動的に切り替えます。

L. FREEZE

選択した画面を静止画面で取り込みます。P.20「静止画面モードで見たい時」を参照して下さい。

M. PIP

PIP(ピクチャーインピクチャー)モードを選択します。

N. ZOOM

全画面モードでこのボタンを押すと、画面上にズームエリアが表示され、再度このボタンを押すと、該当エリアが2倍に拡大され画面上に表示されます。このボタンをもう1度押すと拡大される前の画面に戻ります。□-タリ-ホイ-ルを操作して、ズームエリア及び拡大画面の移動ができます。

O. 番号キー(0~9)

全画面モードで見たいチャンネルの数字を押します。カメラを遠隔操作する場合は"SYSTEM ID"ボタンを押してから遠隔操作するカメラのチャンネル番号を押します。

P. ZOOM (TELE/WIDE)

この機能はリモコンだけにあります。遠隔操作できるカメラ(SOC-420またはSOC-920)を接続した場合にのみ使用できます。

Q. FOCUS (FAR/NEAR)

この機能はリモコンだけにあります。遠隔操作できるカメラ(SOC-420またはSOC-920)を接続した場合のフォーカス操作に使用します。

R. IRIS (CLOSE/OPEN)

この機能はリモコンだけにあります。遠隔操作できるカメラ(SOC-420またはSOC-920)を接続した場合のアイリス(絞り)操作に使用します。

S. ONEAF

選択されたカメラに対して、現在の状態で1回だけオートフォーカスを実行します。この機能はリモコンだけにあります。遠隔操作できるカメラ(SOC-420またはSOC-920)を接続した場合にのみ使用できます。

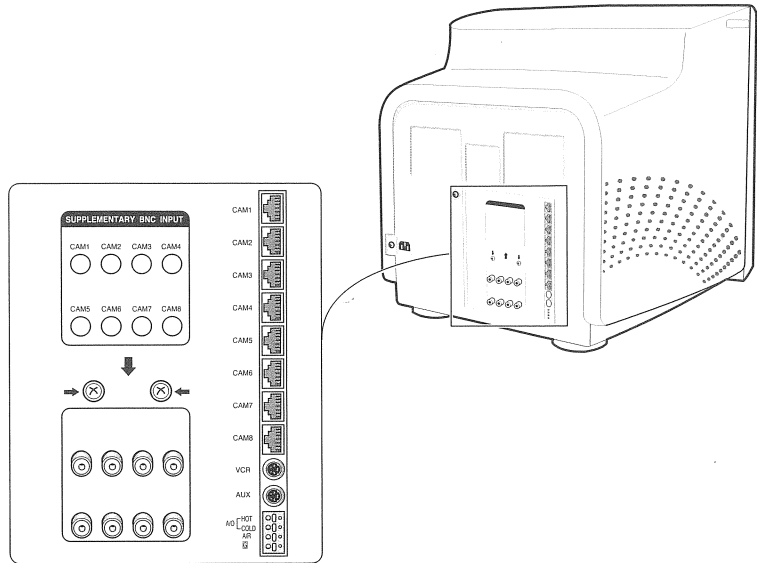
T. SYSTEM ID

この機能はリモコンだけにあります。遠隔制御するシステムを選択します。

U. ID RESET

選択されたシステムIDを初期値ID(1)にリセットします。

背面パネル



A. CAMERA IN (RJ-45)

ビデオカメラ入力端子。RJ-45コネクタを持つカメラを8台まで接続できます。

B. CAMERA IN (BNC)

ビデオカメラ入力端子。BNCコネクタを持つカメラを8台まで接続できます。

警告

同じチャンネルにRJ-45タイプ、BNCタイプ、両方のタイプのカメラを接続しないで下さい。同じチャンネルに両方のタイプのカメラを接続すると、信号干渉が発生し、障害を発生する可能性があります。

C. VCR

- 6ピンコネクタを使用してビデオデッキ(VCR)へ接続します。
- TRIGGER : VCR用のトリガー出力端子。
- VIDEO IN/OUT : VCR用の映像入力/出力端子。
- AUDIO IN/OUT : VCR用の音声入力/出力端子。

D. AUX

- 4ピンコネクタを使用して他の機器に接続します。
- SPOT VIDEO OUT : 追加接続されたモニターのメイン画面内で指定されたチャンネルを監視することができます。
- SPOT AUDIO OUT : 追加接続されたモニターで指定されたチャンネルの音声を聞くことができます。
- SLAVE VIDEO OUT : 追加接続されたモニターで現時刻に表示されているメイン画面を見ることができます。

E. ALARM

- A/O (HOT/COLD) : アラームが発生すると、アクティブメイク信号を出力します。
- A/R : VCRのAlarm Reset端子に接続します。アラームにトリガーが働くとパルスを出力します。
- G : VCRのアース端子に接続します。

F. ~AC IN

電源コードを接続します。

第2章: 設置

設置環境

この章では、安全な設置と使用のための環境要件について説明します。

機器は平らなテーブルまたはラックに設置して下さい。必ず水平状態で使用し、垂直状態や傾斜状態では使用しないで下さい。システムを正しく作動させるにはメインシステムを設置する場所と配線が非常に重要です。機器のまわりに十分な空間がない場合や換気が不十分な場合、システムが正常に動作しない、システムの補修が困難になる等の問題が発生する可能性があります。大気が十分に循環する部屋でシステムを動作させ、環境の不備によってシステムの故障や停止が発生しないよう留意して下さい。また、機器内部には高電圧な部品がありますので、絶対にご自身でカバーを開けないようにしてください。

機器は以下の環境条件を満たす場所に設置して下さい。

システム設置に適した温度・湿度条件は以下のとおりです。

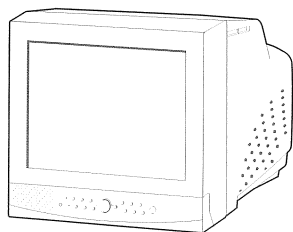
- ・動作温度 : 0℃～40℃
- ・保管温度 : -20℃～60℃
- ・動作湿度 : 20%～85%
- ・保管湿度 : 20%～95%
- ・入力電圧 : AC100～240V
- ・電源周波数 : 50/60Hz

警告

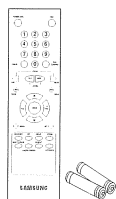
機器は入力電圧の増減が定格電圧の10%以内で動作させて下さい。故障や感電を避けるため、外部の電源出力はアースして下さい。また、火災や故障につながる危険性がありますので、ヘアードライヤー、アイロン、冷蔵庫といった発熱装置を持つ機器を、同じコンセントに接続しないで下さい。安定した電源供給のために、自動電圧調整器の使用を強くお勧めします。また、電磁干渉を防止するため、コネクタにフェライトコアを取り付けて下さい。

開梱

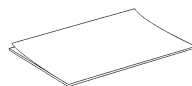
パッケージ・カバーを取り、機器を平らな安定したところに置いて下さい。
以下の機器および付属品が同梱されていることを確認して下さい。



カラーモニター



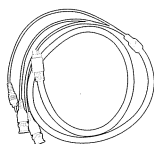
リモコン/電池



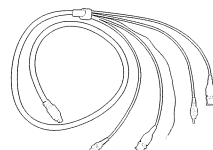
取扱説明書(本書)



電源コード



4ピン・アクセサリ (AUX)



6ピン・アクセサリ (VCR)

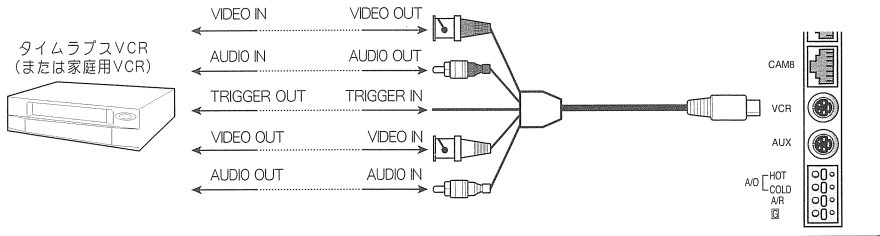
第3章: 外部機器への接続

機器はモニター、VCR、アラームボックス、ドアベルボックス等の外部機器に接続できます。この章では外部機器への接続方法について説明します。

注

カメラ、ビデオ、音源などから2Vを超える入力がないことを確認して下さい。
機器の故障の原因となります。

1. タイムラプスVCR（または家庭用VCR）と接続する



- 1) 6ピンプラグを背面パネルの"VCR"端子に接続して下さい。
- 2) "VIDEO OUT"プラグをVCRのVIDEO IN端子に接続して下さい。
- 3) "VIDEO IN"プラグをVCRのVIDEO OUT端子に接続して下さい。
- 4) "AUDIO OUT"プラグをVCRのAUDIO IN端子に接続して下さい。
- 5) "AUDIO IN"プラグをVCRのAUDIO OUT端子に接続して下さい。
- 6) "TRIGGER"プラグをVCRのREC TRIGGER OUT端子に接続して下さい。
- 7) 背面パネルのA/O (HOT) 端子をVCRのALARM IN端子に接続して下さい。
- 8) 背面パネルのA/O (COLD) 端子をVCRのGROUND端子に接続して下さい。
- 9) 背面パネルのA/R端子をVCRのALARM RESET端子に接続して下さい。
- 10) 背面パネルのG(ground)端子をVCRのアース端子に接続して下さい。

注

REC TRIGGER OUT端子やアラーム端子の名称はタイムラプスVCRの機種によって異なる場合があります。接続前に端子の名称を確認して下さい。

2. アラームセンサーへの接続

アラーム・ボックスの取扱説明書に従って、アラーム・ボックスとアラーム・センサーを接続して下さい。

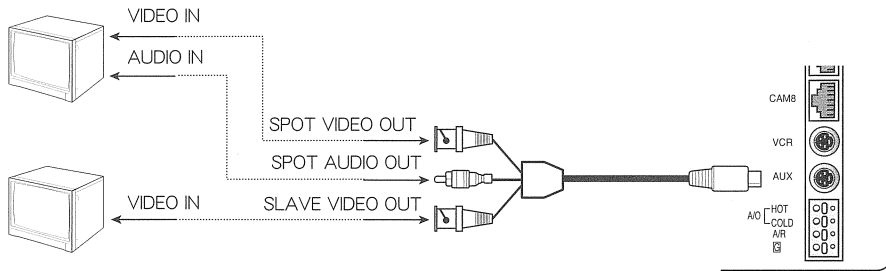
3. ドアベルボックスへの接続

ドアベル・ボックスの取扱説明書に従って、カメラとドアベル・ボックスを接続して下さい。

4. 通常モニターへの接続

通常モニターをSPOT出力端子に接続して下さい。これにより、メイン画面内で指定したチャンネルを監視できます。

スレーブモニターを出力端子に接続すると、現在の状況を同時に表示できます。



第4章: 基本的な使い方

1. 基本操作

1) 電源スイッチを入れる

初めて電源を入れると、9分割画面がモニターに表示されます。この時点で、入力のないチャンネルは青い画面で表示され、ビデオロスが発生します。(初期設定が完了した後、電源を切る時に設定が記憶されます。再度電源を入れると電源を切る前に設定された状態から作動します。)

2) 表示モードを選択する

- 全画面モード：分割画面のときに、ロータリーホイールを使って目的のチャンネルを選択し、ロータリーホイール中央のEnterボタンを押すと選択したチャンネルが全画面モードで表示されます。
- マルチ画面モード："MULTISCREEN"ボタンを押すと分割画面が表示されます。分割画面で表示するチャンネルを選択できます。
- シーケンス画面モード："SEQUENCE"ボタンを押すと全画面モードで自動的にチャンネルを切り替えます。
- フリーズ画面モード："FREEZE"ボタンとロータリーホイールの操作により静止画面を取り込んで表示することができます。
- LIVE/再生画面モード："LIVE/P.B./TRIPLEX"ボタンを押すと現時点のカメラ信号の監視したり、録画した画面を再生したりすることができます。
- TRIPLEX 画面モード："LIVE/P.B./TRIPLEX"ボタンを押すと現時点のカメラ信号と、録画した画面を同時に表示できます。
- PIP 画面モード："PIP"ボタンを押すと画像内画面 (PIP) を表示できます。
- ZOOM画面モード："ZOOM"ボタンとロータリーホイールの操作により全画面の画像を2倍に拡大することができます。

2. Live/P.B./TRIPLEX画面で見たい時

LIVE/P.B./TRIPLEX ボタンを押して、LIVE、再生、または TRIPLEX 画面モードを選択します。ボタンを押すごとに、LIVEモード、再生モード、TRIPLEXモードの順でモードが切り替わります。

以下の場合、LIVE/P.B./TRIPLEXボタンは機能しません。

- 設定メニューを使用している場合
- イベントリストまたはドアベルリストを表示している場合
- イベントをリプレイしている場合
- 画面をズームしている場合
- マルチ画面モードで静止画面が設定されている場合

3. 全画面モードで見たい時

分割画面表示を全画面表示に変更する場合、全画面表示にしたいチャンネルをロータリーホイールで選択して"ENTER"ボタンを押して下さい。選択されたチャンネルが全画面モードで表示されます。全画面表示設定後はロータリーホイールを操作することにより、目的のチャンネルに切り替えることができます。

4. シーケンス画面モードで見たい時

全画面LIVEモードの時のみ、シーケンス画面設定を行うことができます。全画面LIVEモードの時に"SEQUENCE"を押すとシーケンス画面が設定されます。画面切替の間隔を設定するには、"設定メニュー" : "4. システム設定" "SEQUENCE"へ進んで下さい。

画面切替の間隔は1秒から30秒の間で設定することができます。表示されている画面を停止するには、再度"SEQUENCE"ボタンを押して下さい。

以下の場合、SEQUENCEボタンは機能しません。

- 再生モードあるいはTRIPLEXモードに設定されている場合
- 設定メニューを使用している場合
- 分割画面を表示している場合
- イベントリストまたはドアベルリストを表示している場合
- イベントをリプレイしている場合
- 画面を拡大している場合

5. 静止画面モードで見たい時

全画面または分割画面表示を一時停止し、LIVEモード、再生モード、モードの場合、一時的に画面を停止し静止画面を表示させることができます。マルチ画面モードの場合は、選択した画面だけを静止画像にすることもできます。

1) 全画面表示

"FREEZE"ボタンを押すと、現在の画面が静止し、"FREEZE"のアイコンの右上に現れます。このモードを終了するには"FREEZE"ボタンを再度押して下さい。

2) マルチ画面表示

- ① "FREEZE"ボタンを押すと、"FREEZE"アイコンが画面の右上に現れます。
- ② ロータリーホイールを操作して静止させたい画面へ移動します。
- ③ ロータリーホイール中央のENTERボタンを押すと、選択された画面が静止し、"F"が現れます。このモードを解除するには再度ENTERボタンを押して下さい。
- ④ 別のチャンネルの静止画像を表示するためには、表示するチャンネルに移動してからENTERボタンを押して下さい。選択されたチャンネルの画面が静止し、"F"が現れます。このモードを解除するには再度ENTERボタンを押して下さい。
- ⑤ 他のチャンネルの画像を静止したままにする場合は、手順④を繰り返して下さい。
- ⑥ 再度、"FREEZE"ボタンを押すと"FREEZE"モードが完全に解除されます。

以下の場合、FREEZE ボタンは機能しません。

- ・設定メニューを使用している場合
- ・イベントリストまたはドアベルリストを表示している場合
- ・イベントを再生している場合

6. 拡大画面モードで見たい時

拡大画面モードはLIVE/再生モードの全画面表示の場合のみ作動します。

- 1) "ZOOM"ボタンを押すと、画面の中央にズームエリアが現れます。
- 2) ロータリーホイールとENTERボタンで、ズームエリアを目的の位置へ移動します。
- 3) 画像を2倍に拡大するには"ZOOM"ボタンを再度押して下さい。
- 4) 元のサイズへ戻すには、もう一度 "ZOOM"ボタンを押して下さい。

ズームエリア(拡大範囲)とズーム画像の移動

- 1) "ZOOM"ボタンを押し、ロータリーホイールを回すと、画面上のズームエリアが上下に移動します。
- 2) "ENTER"ボタンを押し、ロータリーホイールを回すと、画面上のズームエリアが左右に移動します。。
- 3) "ENTER"ボタンを再び押し、ロータリーホイールを回すと、画面上のズームエリアが上下に移動します。

以下の場合、ZOOM ボタンは機能しません。

- ・設定メニューを使用している場合
- ・イベントリストまたはドアベルリストを表示している場合
- ・イベントを再生している場合
- ・シーケンス・モードを作動している場合

7. PIP画面モードで見たい時

PIP（ピクチャーイン・ピクチャー）ボタンを使用して、全画面LIVEモードでPIP画面を表示できます。最初にPIPボタンを押した場合の、サブ画面はシーケンス画面です。その後、再度PIPモードに入った場合、サブ画面は以前に設定されたPIPモードと同じモードで表示されます。

PIP画面の使用法

- 1) 全画面LIVEモードでPIPボタンを押します。
- 2) サブ画面に固定されたチャンネルが表示されている場合、ENTERボタンを押すたびにメイン画面の画像とサブ画面の画像が入れ替わります。
- 3) メイン画面のチャンネルを切り換える場合は、ロータリーホイールを回して下さい。
- 4) サブ画面をシーケンシャル画面として設定する場合は"SEQUENCE"ボタンを押します。サブ画面を固定するには、再度"SEQUENCE"ボタンを押して下さい。
- 5) 設定メニュー："2.時刻/表示 設定"の"PIP 位置"で、サブ画面の位置を変更できます。

以下の場合、PIPボタンは機能しません。

- ・再生モード、TRIPLEXモードを使用している場合
- ・分割画面が表示されている場合
- ・設定メニューを使用している場合
- ・イベントリストまたはドアベルリストを表示している場合
- ・イベントを再生している場合
- ・画面を拡大している場合
- ・シーケンス・モードを作動している場合
- ・映像入力信号がない場合
- ・映像信号の入力が1つで、その信号が全画面モードで表示されている場合

8. VCR 出力を見たい時

"LIVE/P.B./TRIPLEX"ボタンを押し、再生全画面モードに変更します。このモードで"ENTER"ボタンを押すと"PB THROUGH"画像が現れます。以前の再生画像へ戻るには、再度"ENTER"ボタンを押して下さい。

注

この機能はPB FULL 表示モードの場合のみ機能します。

9. イベント再生画面を見たい時

1) アラーム／モーション信号が入力された場合

アラーム・ボックスが接続されている場合にのみ、アラーム機能を使用することができます。アラーム／動体検出信号が入力された時、"イベント"という文字が画面に表示され警報音となります。この時"ENTER"ボタンを押すと、アラーム／モーション信号が発生した前後の16フレームが、イベント再生ウィンドウで、再生されます。再度、"ENTER"ボタンを押すと再生を中止します。アラーム／動体検出信号が複数のチャンネルで検出された場合に、"ENTER"ボタンを押すと現在のイベント再生終了後に次のチャンネルのイベント再生が開始されます。アラーム／動体検出信号が検出されたすべてのチャンネルの再生が終了した後、再び"ENTER"を押すとイベント再生モードは解除されます。アラーム／動体検出信号の検出履歴はイベントリストに記録されます。

2) チャンネルロスが検出された場合

チャンネルロス検出機能がチャンネルロスを検出した場合、画面に"イベント"という文字が表示され警報音となります。この時"ENTER"ボタンを押すと、チャンネルロスが発生した前の16フレームが、イベント再生ウィンドウで、再生されます。再度"ENTER"ボタンを押すと再生を停止します。チャンネルロスが複数のチャンネルで検出された場合、"ENTER"ボタンを押すと現在のイベント再生終了後に次のチャンネルのイベント再生が開始されます。チャンネルロスが発生したすべてのチャンネルの再生が終了した後、再び"ENTER"を押すとイベント再生モードは解除されます。チャンネルロスの検出履歴はイベントリストに記録されます。

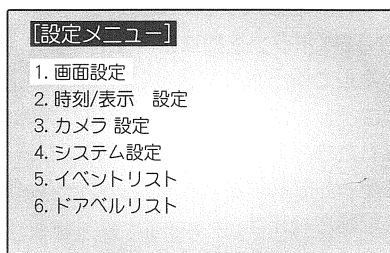
10. ドアベル画面を見たい時

ドアベル機能はドアベルが接続されている場合に限り使用できます。ドアベルが押されると、ベル音と同時に、現在、表示されている画面はドアベル・エリア監視画面に切り換わり、警報音が鳴ります。この時、"ドアベルリスト"に一枚のインスタント画像が保存されます。最大8枚までの画像を"ドアベルリスト"に保存することができます。また、このリストから、保存されているすべての画像にアクセスし、画面に表示することができます。静止画面として表示するには、設定メニューの"6. ドアベルリスト"から目的の項目へ移動し"ENTER"ボタンを押して下さい。"ドアベルリスト"へ戻るには再び"ENTER"ボタンを押して下さい。

第5章: 設定メニュー

<設定メニュー>

- "MENU"ボタンを押すと、画面上に以下のような[設定メニュー]画面が表示されます。



<サブメニュー>

- ロータリーホイールでアクセスするサブメニュー（1～6）を選択し、"ENTER"ボタンを押すと、目的のサブメニューへ進みます。

1. 画面設定

モニター メイン画面の明暗・輝度・色・鮮明度・彩度を調整できます。
ロータリーホイールで、[設定メニュー]から、"1.画面設定"を選択し、"ENTER"
ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

[画面設定]	
コントラスト(映像)	50
明るさ	50
色調(色の濃さ)	50
画質(鮮明さ)	50
色あい	50
出口	終了

- ・設定値を変更するには、ロータリーホイールで変更する項目を選択し、"ENTER"ボタンを押して下さい。
- ・ロータリーホイールを操作して設定値(0~100)を調節します。
"ENTER"ボタンを押すと、設定が保存されます。
- ・出口メニュー から 保存(変更した値を保存)、終了(保存せず設定モードを終了)
プリセット(すべての設定を出荷時の状態にリセット)を選択し"ENTER"ボタン
を押すと[設定メニュー]へ戻ります。

2. 時刻／表示設定

PIPの位置・表示タイプ・日付タイプ・時刻タイプを変更できます。
ロータリーホイールで、[設定メニュー]から、"2.時刻/表示設定"を選択し、
"ENTER"ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

[時刻/表示 設定]	
PIP位置	右下
表示方式	全て
境界色	グレー
日付表示	年/月/日
日付[年/月/日]	03/10/01
時間[時:分:秒]	12:30:01

- ・設定値を変更するには、ロータリーホイールで変更する項目を選択し、
"ENTER"ボタンを押して下さい。
- ・ロータリーホイールを操作して設定値を調節します。
"ENTER"ボタンを押すと、設定が保存されます。
- ・設定メニューへ戻るには、"MENU"ボタンを押します。

PIP位置：右下 ↔ 左上 ↔ 右上 ↔ 左下

- ・4ヶ所の位置設定の中から、PIP(画面内画面)の位置を選択して下さい。

表示方式：全て ↔ タイトル ↔ 日付/時間 ↔ 表示せず

- ・全て：日付/時間およびタイトル以外のすべての項目が表示されます。
- ・タイトル：チャンネルタイトルのみ表示されます。
- ・日付/時間：日付/時間のみ表示されます。
- ・表示せず：日付/時間もタイトルも表示されません。

境界色：グレー ↔ 黒

- ・グレー：マルチ画面モードで境界線の色を灰色で表示します。
- ・黒：マルチ画面モードで境界線の色を黒で表示します。

日付表示：年/月/日 ↔ 月/日/年 ↔ 日/月/年

日付 [年/月/日]

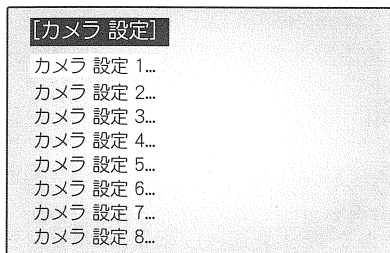
- ・年 (YY) : 00(2000) ~ 99(2099)
- ・月 (MM) : 01 ~ 12
- ・日 (DD) : 01 ~ 31

時間 [時:分:秒]

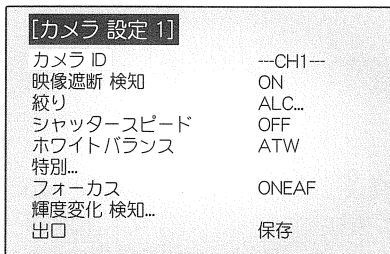
- ・時 (HH) : 00 ~ 23
- ・分 (MM) : 00 ~ 59
- ・秒 (SS) : 00 ~ 59

3. カメラ設定

カメラID、映像信号ロス検出、動体検出、カメラのプリセットの値を変更できます。ロータリーホイールで、[設定メニュー]から、「3. カメラ設定」を選択し、「ENTER」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



ロータリーホイールで目的のチャンネルを選択し「ENTER」ボタンを押すと選択したチャンネルの画面へ移動し、以下の画面が表示されます。



- "カメラID"と"映像遮断 検知"以外の項目は、システムにカメラ（SOC-420あるいはSOC-920、別売り）が接続されている場合のみ設定できます。
- ロータリーホイールで目的の項目を選択し"ENTER"ボタンを押して下さい。ロータリーホイールを操作してプリセット値を変更し、"ENTER"ボタンを押すと、設定が完了します。
- 出口メニュー から 保存(変更した値を保存)、終了（保存せず設定モードを終了）、プリセット（すべての設定を出荷時の状態にリセット）を選択し"ENTER"ボタンを押すと[カメラ設定メニュー]へ戻ります。設定モードの状態では前のメニューへ戻ることはできません。出口を選択した場合のみ前のメニューへ戻ることができます。
- 同様の手順で各チャンネルの設定を行って下さい。
- すべての設定が完了した後、「MENU」ボタンを押すと[設定メニュー]へ戻ります。

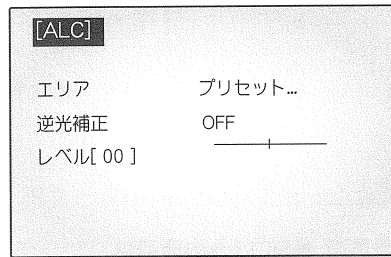
カメラ ID: ---CH1--- ("-"は空白を表します。)

- ロータリーホイールで"カメラID"を選択し"ENTER"ボタンを押して下さい。
"-"が現れます。
- ロータリーホイールで目的の文字を選択し"ENTER"ボタンを押して下さい。
文字が入力され、次の文字の入力可能となります。
(文字の順序: 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ]+(/).)
- 同様の手順で カメラ ID を作成して下さい。(最大8字以内)

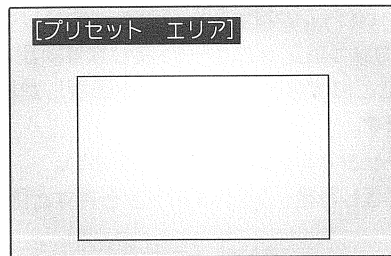
映像遮断検知: 信号ロス検出 のオン/オフを設定します。

絞り: カメラに入力する光のレベルに応じて、映像信号出力レベルを絞りの調整によって制御します。

- ロータリーホイールで"絞り"を選択し"ENTER"ボタンを押して "ALC..." あるいは "マニュアル..." のいずれかを選択して下さい。
- ALC... : 自動光量補正
 - ロータリーホイールで "ALC" を選択し"SET"ボタンを押すと以下の画面が現れます。すべての設定が完了した後、"MENU"ボタンを押すと前のメニューへ戻ります。

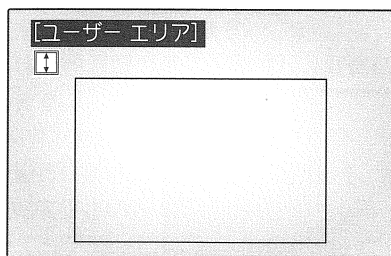





- ロータリーホイールでエリアを選択しENTERボタンを押して"プリセット..." または"ユーザー..."のいずれかを選択して下さい。
- ロータリーホイールでプリセットを選択し"SET"ボタンを押すと以下の画面が現れます。プリセット値では、選択されたエリアにたいして逆光補正が適用されます。



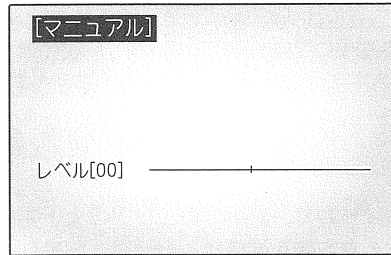
"MENU"ボタンを押すと、直前の画面に戻ります。

- ロータリーホイールで"ユーザー"を選択し"SET"ボタンを押すと以下の画面が現れます。



- ロータリーホイールで、設定するエリアの上下幅のサイズを調整しENTERボタンを押すと左右幅を調整するモードへ移動し、画面に  が表示されます。
 - ロータリーホイールで、左右幅調整を調整後、"ENTER"ボタンを押して下さい。エリアの上下調整が可能になります。その時  が画面に現れます。
 - ロータリーホイールを操作してエリアの上下位置調整を完了したら"ENTER"ボタンを押して下さい。エリア位置の左右調整が可能になります。その時  が画面に現れます。
 - ロータリーホイールで、エリアの位置設定を完了し"ENTER"ボタンを押して下さい。これでエリアの設定が完了します。"MENU"ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 逆光補正(BLC)：逆光補正(BLC)をオンにすると、逆光補正(BLC)機能がAREAで設定されたすべてのエリアに適用されます。被写体の背後に明るい光がある場合、逆光のため被写体はモニター上に暗く表示されます。逆光補正(BLC)機能によりこの問題は解決され、鮮明な画像を表示することができます。
 - レベル：映像出力レベルを"-9"から"+9"の範囲で設定できます。設定を変更するには、ロータリーホイールで、"LEVEL[00]"を選択し、"ENTER"ボタンを押して下さい。設定変更後に設定を保存するには、再度"ENTER"ボタンを押して下さい。

- ・ マニュアル ... : 絞りの手動開閉を設定します。
 - ロータリーホイールで"マニュアル"を選択し"SET"ボタンを押すと以下の画面が現れます。



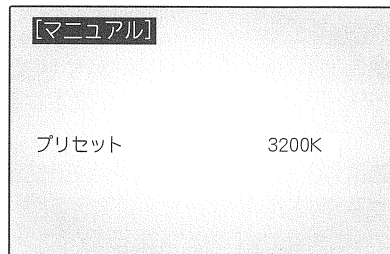
- ロータリーホイールで値を設定して下さい。
- "MENU"ボタンを押すと、前のメニューへ戻ります。

シャッタースピード

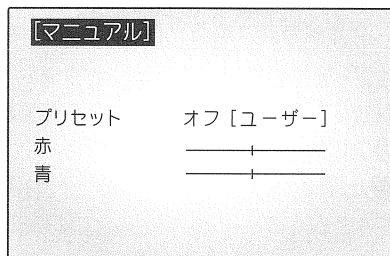
- 高速電子シャッター速度、自動低速シャッター速度、FIX低速シャッター速度を設定できます。高速電子シャッターは、1/100秒から1/10K秒の範囲で7通りのシャッター速度を設定できます。自動低速シャッターとFIX低速シャッターでは、2倍から128倍の範囲で12通りのシャッター速度を設定できます。
- 低速設定では、シャッター速度を下げることにより暗い光の下でもより鮮明な画像を表示させることができます。自動低速シャッターを選択すると、光密度を検出し、密度に応じて自動的にシャッター速度を調整します。手でシャッター速度を調整する場合はFIX低速シャッターを選択します。
- 自動とFIXの項目の後にある数値は保存されるフィールドの番号を示します。数値が大きいほど、シャッター速度はより低速となります。したがって、画像は静止画像の場合にもっとも鮮明です、反対に動きのある被写体については、ブレが生じぼやけた画像となります。設定値を調整するためには、シャッタースピードメニューでENTERボタンを押して下さい。その後、ロータリーホイールで値を設定しENTERボタンを押すと設定は完了します。
OFF → 1/100 → 1/250 → 1/500 → 1/1000 → 1/2000 → 1/4000 → 1/10K → OFF → 自動 2倍 → 自動 4倍 → 自動 6倍 → 自動 8倍 → 自動 12倍 → 自動 16倍 → 自動 24倍 → 自動 32倍 → 自動 48倍 → 自動 64倍 → 自動 96倍 → 自動 128倍 → OFF FIX 2倍 → FIX 4倍 → FIX 6倍 → FIX 8倍 → FIX 12倍 → FIX 16倍 → FIX 24倍 → FIX 32倍 → FIX 48倍 → FIX 64倍 → FIX 96倍 → FIX 128倍。

ホワイトバランス : ATW、AWC、マニュアル...

- ・ホワイトバランス機能をオンにすると、光の色温度にかかわらず自然な白を表示することができます。
- ・ATW: 色温度の変化を監視し、変化に応じてホワイトバランスの設定を調整します。
- ・AWC: 色温度にあわせて1回ホワイトバランスを調整し、その後もその設定を維持します。AWC画面を表示して、白い紙をカメラの前に置き、"SET"ボタンを押して下さい。
- ・マニュアル...: ロータリーホイールで"マニュアル"を選択し"SET"ボタンを押すと、以下の画面が現れます。この画面で、3200K、5600K、またはユーザーモードを選択し、現在の光環境に適応したホワイトバランスを手動で設定できます。



- 3200K : 色温度 を3200° Kに設定します。
- 5600K : 色温度 を5600° Kに設定します。
- "オフ[ユーザー]"に設定すると以下の画面が現れます。"ENTER"ボタンを押し赤・青 にたいして適切な値を選択し、手動で色温度を設定して下さい。



"MENU"ボタンを押すと、前のメニューへ戻ります。

特別...

- ・ロータリーホイールで[特別]を選択し"ENTER"ボタンを押すと以下の画面が現れます。設定を完了し、前のメニューへ戻るには"MENU"ボタンを押して下さい。

【特別】	
自動感度調整	ON
ミラー	OFF
デジタルズーム	OFF
ポジ/ネガ	+
ズームスピード	3
画像精度 [0]	————— —————

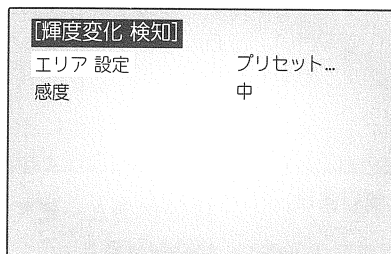
- ・自動感度調整: 自動感度調整機能のオン/オフを設定します。
- ・ミラー: 映像出力信号水平方向反転
- ・デジタルズーム: デジタルズームの拡大率を設定します。最大10倍拡大まで可能です。
- ・ポジ/ネガ: 映像出力信号をノーマル出力または反転出力のいずれかに設定します。
- ・ズームスピード: ズームの移動速度を設定します。
 - 1: 1倍から12倍拡大まで約17秒 (最低速)
 - 2: 1倍から12倍拡大まで約10秒 (低速)
 - 3: 1倍から12倍拡大まで約 6秒 (高速)
 - 4: 1倍から12倍拡大まで約 3秒 (最高速)
- ・画像精度: 垂直方向・水平方向の輝度を調整します。

フォーカス: フォーカス (焦点) をMF または オンEAFに設定します。

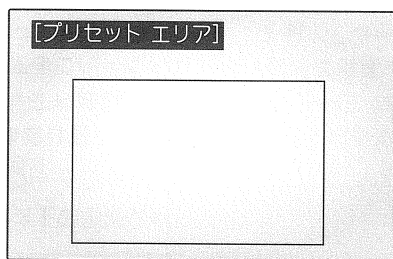
- ・MF: 手動フォーカス・モードでは、ユーザーがフォーカスを調整します。
- ・ONEAF: ズームが広角から望遠へ移動する場合、望遠機能の完了後に1回だけAF(オートフォーカス)が実行されます。
 - ONEAFは、静止画像がある場合はMFモードのように機能し、ズームが望遠方向へ移動する場合はAFモードのように機能します。

輝度変化 検出 ...

- ・ モーション検出機能は、被写体の動きを検出するために使用されます。検出をオンにすることにより、不在時の侵入者の動きを検出することができます。
- ・ ロータリーホイールで "輝度変化検出" を選択し "ENTER" ボタンを押すと以下の画面が現れます。設定を完了した後、前のメニューに戻るには "MENU" ボタンを押して下さい。

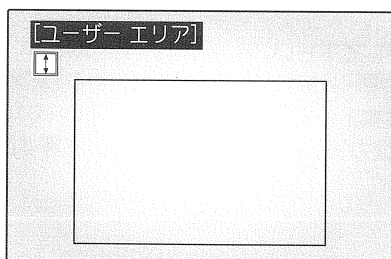





- ・ **エリア(範囲)設定** : モーション検出機能を適用する画面範囲を設定します。
 - プリセット...
 - ロータリーホイールで "プリセット" を選択し "SET" ボタンを押すと以下の画面が現れます。モーション検出はは枠内のエリアに適用されます。



MENU ボタンを押すと、前のメニューに戻ります。

- ユーザー...
 - ロータリーホイールで "ユーザー" を選択し "SET" ボタンを押すと以下の画面が現れます。

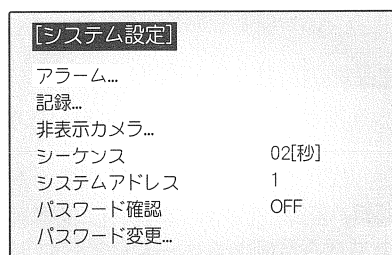


- ロータリーホイールで、上下のサイズを調整し、"ENTER"を押すと、左右のサイズを調整するモードへ移動します、その時、画面に  が現れます。
- ロータリーホイールで、左右のサイズを調整し、"ENTER"ボタンを押して下さい。上下の位置を調整するモードへ移動します。その時、画面に  が現れます。
- ロータリーホイールで、エリアの上下の位置調整を完了したら、"ENTER"ボタンを押して下さい。左右の位置を調整するモードへ移動します。その時画面に  が現れます。
- ロータリーホイールで、左右の位置を調整したら、"ENTER"ボタンを押して下さい。これで、エリアの設定が完了します。"MENU"ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

- ・ 感度: モーション検出機能の感度を低感度、中感度、または高感度に設定します。

4. システム設定

アラーム、記録、非表示カメラ、シーケンス、システムアドレス、パスワードの設定を変更できます。ロータリーホイールで設定メニューから"4.システム設定"を選択し"ENTER"ボタンを押すと以下の画面が現れます



- ロータリーホイールで、変更するシステム設定の項目を選択し"ENTER"ボタンを押して下さい。
- ロータリーホイールで設定を変更し、"ENTER"ボタンを押すと、設定が保存されます。
- すべての設定が完了した後、"MENU"ボタンを押すと設定メニューへ戻ります。

アラーム...

- ロータリーホイールで"アラーム"を選択し"ENTER"ボタンを押すと以下の画面が現れます。

[アラーム]	
アラーム 保持時間	01 [分]
アラーム ブザー	05 [秒]
アラーム パターン...	

アラーム保持時間

アラーム保持時間は、アラームが継続する時間です。5秒、15秒、30秒、1分、3分、5分、10分、20分、30分、またはAUTOから選択できます。

AUTOを選択すると、アラームはアラーム信号が継続している間オンとなります。

アラームブザー

アラームが発生すると、アラームブザーが鳴ります。ブザーの保持時間は、5秒、15秒、30秒、1分、OFFから選択できます。

OFFを選択した場合、アラームブザーは鳴りません。

- ロータリーホイールで"アラーム パターン"を選択し"ENTER"ボタンを押すと以下の画面が現れます。

[アラーム]	
アラーム 保持時間	01 [分]
アラーム ブザー	05 [秒]
アラーム パターン...	
時間 08:00 - 17:00 [A]	
17:00 - 08:00 [B]	
パターン A...	
パターン B...	

- アラームの設定時間・解除時間を2種類のパターンから選択することができます。パターンAを選択した場合、パターンBは自動的に修正されます。

- ロータリーホイールで "パターン A" を選択し "ENTER" ボタンを押すと、以下の画面が現れます。

[パターン A]			
CH	輝度変化	アラーム	ドアベル
CH1	OFF	OFF	OFF
CH2	--	--	OFF
CH3	OFF	--	OFF
CH4	OFF	OFF	--
CH5	--	OFF	OFF
CH6	--	--	--
CH7	OFF	OFF	OFF
CH8	ON	OFF	OFF

- 8台のカメラすべての輝度変化、アラーム、ドアベルのオン/オフを選択します。
- 設定が完了した後、"MENU" ボタンを押すと、アラームメニューへ戻ります。
- 同様の手順で "パターン B" を設定してください。
- 付属機器との接続が不通の場合、"--" が画面に表示されます。

記録...

- ロータリーホイールで "記録" を選択し "ENTER" ボタンを押すと以下の画面が現れます。

[記録]	
記録形式	NOR
記録出力	フレーム
音声記録	CH1
スポット出力	CH1

記録形式

- NOR: 通常のビデオデッキを接続する場合に選択してください。
"記録出力" で設定された値 (フィールド/フレーム) に従って表示されます。
- TLV: タイムラプスビデオデッキを接続する場合に選択してください。

記録出力

記録形式が NOR の場合に有効です。

- フィールド: 1/60秒 (NTSC) で記録します。
- フレーム : 1/30秒 (NTSC) で記録します。

音声記録

音声信号を録音出力へ送るチャンネルを設定します。

スポット出力

特に監視する必要のあるSPOT用の出力チャンネルを設定します。

- すべての設定が完了したらMENUボタンを押して下さい。システム設定メニューへ戻ります。

非表示カメラ

- ロータリーホイールで"非表示カメラ"を選択し"ENTER"ボタンを押すと以下の画面が現れます。

[非表示カメラ]		
CH	ライブ	再生
CH1	OFF	OFF
CH2	OFF	OFF
CH3	ON	OFF
CH4	OFF	OFF
CH5	OFF	OFF
CH6	OFF	OFF
CH7	OFF	OFF
CH8	OFF	OFF

- 各チャンネルについて、LIVEモードと再生モードの非表示カメラ機能のオン/オフを選択して下さい。
設定が完了したら、"MENU"ボタンを押して下さい。システム設定メニューへ戻ります。

シーケンス

- シーケンス機能設定時の画面転換時間の間隔を設定してください。
1秒から30秒の間で設定できます。

システムアドレス

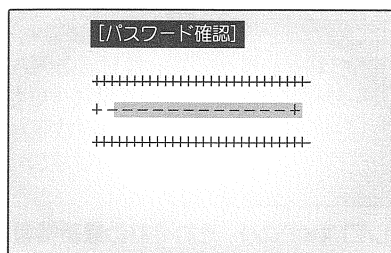
- 複数のモニター(10台まで)を連携させて使用している場合、この機能により特定のモニターをリモコンでコントロールすることが可能になります。
リモコンIDと一致するIDを持つモニターのみが、対応するリモコンでコントロールできます。

CH1	CH2	CH3
MONITOR ID: 1		REMOCON ID: 1
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	

- モニターとリモコンの初期設定値は1です。モニターIDの値は、システム設定メニューのシステムアドレス設定から、0~9の範囲で設定することができます。リモコンのシステムアドレスボタンを押すと、上記の画面のようにモニターIDとリモコンIDが表示されます。リモコンIDを設定するにはシステムアドレスボタンを押してから、数字ボタン(0~9)を押して目的の番号を入力して下さい。OSD (ON SCREEN DISPLAY : 画面設定表示)は最後のボタンを押してから3秒後に消えます。

パスワード確認

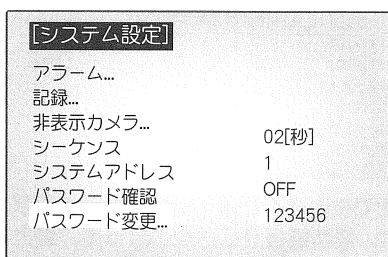
- ・ 設定メニュー へのアクセスを制限する場合はパスワードチェックをオン、制限しない場合はオフを選択してください。
- ・ パスワード確認がオンの場合は設定メニュー へ入る前にパスワードを確認する画面が現れます。



- ・ ロータリーホイールでパスワードの1桁目の数字を選択し、ENTERボタンを押すと次の桁へ移動します。同様の手順を6桁のパスワードを入力するまで繰り返して下さい。パスワード入力後、"ENTER"ボタンを押すと設定メニューへ戻ります。
- ・ パスワードが正しくない場合は、"エラー再試行"が画面の下部に現れます。このメッセージは、パスワードの1桁目を入力すると消えます。同様の手順を繰り返し6桁のパスワードを入力して下さい。パスワード入力後、"ENTER"ボタンを押すと設定メニューへ移動します。誤ったパスワードを3回入力すると、前のメニューへ戻ります。

パスワード変更

- ・ ロータリーホイールで"パスワード変更"を選択し"ENTER"ボタンを押すと以下の画面に現在のパスワードが表示され、数字の1桁目が選択されます。(初期設定のパスワードは123456です。)



- ・ ロータリーホイールでパスワードの1桁目の数字を入力し、"ENTER"ボタンを押して下さい、次の桁への入力が可能になります。同様の手順で6桁のパスワードを入力して下さい。入力後、"ENTER"ボタンを押すと新しいパスワードに変更されます。
- パスワードは、0から9までの数字で入力して下さい。

5. イベントリスト

アラーム/輝度変化/ロスイベントリストを確認できます。

ロータリーホイールで設定メニューから、「5. イベントリスト」を選択し「ENTER」ボタンを押すと、以下の画面が現れます。

【イベントリスト】			
	年/月/日	時:分:秒	CH
1.	03/10/30	12:30:01	M 01
2.	03/10/29	12:30:01	A 02
3.	03/10/28	12:30:01	M 08
4.	03/10/27	12:30:01	A 04
5.	03/10/26	12:30:01	A 03
6.	03/10/25	12:30:01	L 01
7.	03/10/24	12:30:01	A 06
8.	03/10/23	12:30:01	M 07
9.	03/10/22	12:30:01	A 01
10.	03/10/21	12:30:01	A 01

- ・アラーム/輝度変化/ロスイベント それぞれの最新情報が保存されます。
このシステムでは、最新のイベントから最大50件(10 × 5ページ)までのイベントを保存します。ロータリーホイールでページを移動することができます。
- ・"MENU"ボタンを押すと、設定メニューへ戻ります。

6. ドアベルリスト

ドアベルのイベントリストを確認するためには、ロータリーホイールで設定メニューから「6. ドアベルリスト」を選択し「ENTER」ボタンを押して下さい。以下の画面が現れます。

【ドアベルリスト】			
	年/月/日	時:分:秒	CH
1.	03/10/30	12:30:01	D 01
2.	03/10/29	12:30:01	D 02
3.	03/10/28	12:30:01	D 08
4.	03/10/27	12:30:01	D 04
5.	03/10/26	12:30:01	D 03
6.	03/10/25	12:30:01	D 01
7.	03/10/24	12:30:01	D 06
8.	03/10/23	12:30:01	D 07

- ・ドアベル検出機能で検出された最新情報が保存されます。
このシステムでは、最新情報からさかのぼって、最大8件までのドアベル検出記録を保存することができます。ロータリーホイールでリストを下へスクロールして、確認したいドアベルイベントを選択して「ENTER」ボタンを押して下さい。対応するイベントの静止画像が現れます。「ENTER」ボタンを押すとドアベルリストへ戻ります。
- ・"MENU"ボタンを押すと、設定メニューへ戻ります。

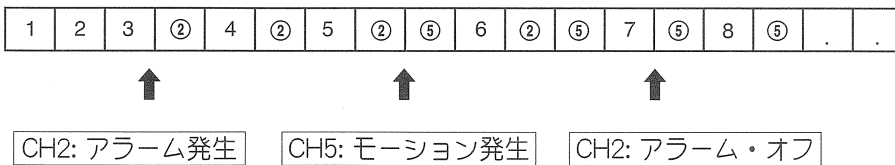
第6章: 録画

1. タイムラプス（またはノーマル）モードで録画する

- 最大8台のカメラから伝送された映像信号は1/30または1/60秒間隔で再生されVCRに録画されます。
- VCRのトリガーアウトポートは、このシステムのTRIGGER（6ピンVCRアクセサリ）に接続されなければいけません。
- VCRからのトリガー信号が30秒以上途絶えると、セルフトリガーモードがオンになり、VCRからのトリガーがなくても録画を継続します。

2. アラーム／モーションチャンネル中心の録画

- 本機はアラーム／モーションの時にチャンネルを二重で録画します。
- 出力チャンネルを録画する間にアラーム／モーション・チャンネルを録画します。
- "ビデオロス"チャンネルもアラーム／モーション・チャンネル二重録画の対象となります。
- 例) アラームがCH2でオンになっています。
CH5で輝度変化が発生しています。



第7章: アラーム、モーション、ロス、ドアベル

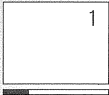
1. アラームの発生

アラームはアラームボックスが接続されている場合のみ作動します。

- 1) アラーム・トリガーを受信すると警告音が鳴り、画面は9分割ライブモード・サブ画面に分割されます。"イベント"が画面に現れ、アラーム発生情報が画面右下に表示されます。

03/10/01 12:30:30		イベント
CH1	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	A 12345678

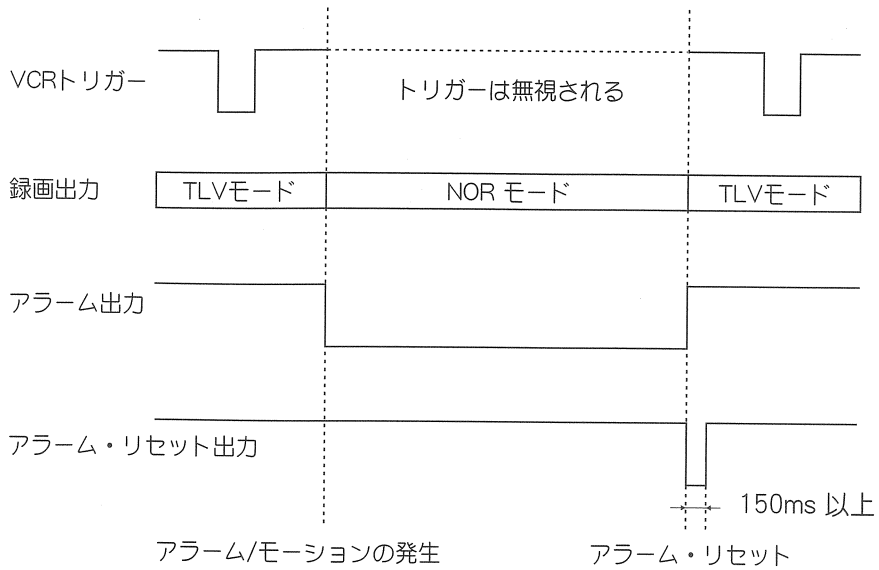
- 2) "ENTER"ボタン(ロータリーホイールの中央)を押すと、イベント再生モードでイベントが再生されます。アラーム発生時を中心として最大16画面が再生されます。再生の持続時間はグラフで表示されます。再生中にロータリーホイールを回すと、保存された画面が1コマずつ前後に移動します。イベント再生を終了するには"ENTER"ボタンを押して下さい。イベント再生は"ENTER"ボタンを押すまで続きます。

03/10/01 12:30:30		イベント
	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	アラーム 03/10/01 12:29:30

- 3) アラーム発生情報は"イベントリスト"に保存されます。
- 4) アラーム出力(HOT、COLD)信号はアラーム保持時間の間、有効になります。
 - ALARM HOLD TIME (アラーム保持時間)
アラームが最初に検出された後、アラーム機能が持続する時間。アラーム保持時間はイベント再生をオンにすると自動的にリセットされます。

5) 録画出力はアラームがクリアされるまでノーマルモードで続行されます。
該当チャンネルの録画頻度が増加します。

6) アラームが発生すると信号が変化し、その後クリアされます。



2. モーションの発生

モーション・オプションはモーション機能のあるカメラを接続したときのみ使用できます。

- 1) モーショントリガーを受信すると、警告音が鳴り、画面は9分割ライブモード・サブ画面に分割されます。"イベント"が画面に現れ、モーション発生情報が画面右下に表示されます。

03/10/01 12:30:30		イベント
CH1	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	M 12345678

- 2) "ENTER"ボタン（ロータリーホイールの中央）を押すと、イベント再生モードでイベントが再生されます。モーション発生時を中心として最大16画面が再生されます。再生の持続時間はグラフで表示されます。再生中にロータリーホイールを回すと、保存された画面が1コマづつ前後に移動します。イベント再生を終了するには"ENTER"ボタンを押して下さい。イベント再生は"ENTER"ボタンを押すまで続きます。

03/10/01 12:30:30		イベント
1	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	モーション 03/10/01 12:29:30

- 3) モーション発生情報は イベントリストに保存されます。
- 4) アラーム出力 (HOT、COLD) 信号は"アラーム保持時間の間、有効になります。
- 5) 記録出力はモーションがクリアされるまでノーマルモードで継続されます。該当チャンネルの記録頻度が増加します。
- 6) モーションが発生すると信号が変化し、その後クリアされます。

3. ロスの発生

- 1) ロスが発生すると警告音が鳴り、画面は9分割ライブモード・サブ画面に分割されます。"イベント"が画面に現れ、ロスが発生したチャンネルが画面に現れ、対応したチャンネルはブルーブラックで表示されます。複数のロスが発生した場合、チャンネル番号表示は1秒の間隔でブルーブラックに切り替わります。

03/10/01 12:30:30		L12345678 イベント
CH1	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	

- 2) "Enter"ボタン(ロータリーホイールの中央)を押すと、イベント再生モードでイベントが再生されます。アラーム発生時を中心として最大16画面が再生されます。再生の持続時間はグラフで表示されます。再生中にロータリーホイールを回すと、保存された画面が1コマづつ前後に移動します。イベント再生を終了するには"ENTER"ボタンを押して下さい。イベント再生は"ENTER"ボタンを押すまで続きます。

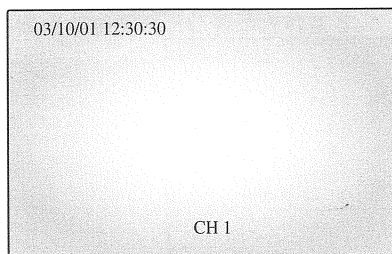
03/10/01 12:30:30		L12345678 イベント
1	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	ロス 03/10/01 12:29:30

- 3) ロス発生情報はイベントリストに保存されます。
- 4) 該当するカメラが再接続された場合、古い設定はキャンセルされ、工場出荷時設定へ戻ります。

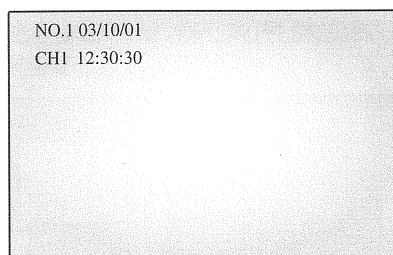
4. ドアベルの発生

ドアベルオプションはドアベルボックスが接続されている場合にのみ作動します。

- 1) ドアベルが押されると警報音が鳴り、ドアベルエリア監視画面に全画面モードで切り替わります。



- 2) ドアベルが押されると、静止画面が"ドアベルリスト"に保存されます。
- 3) 最大8コマの静止画像をドアベルリストに保存でき、選択したリストを画面に表示できます。



- 4) 設定メニューで"6.ドアベルリスト"から目的のリストを選択し、"ENTER"ボタンを押すと、該当するドアベルの静止画面が再生されます。"ENTER"を押すとドアベルリストへ戻ります。

付録

仕様

1. 製品名	SMO-210TRN	SMO-150TRN
2. 映像入力	カメラ8入力：1.0V _{p-p} 、75Ω（自動終端）、RJ-45タイプ、CVBS VCR 1入力（VCRの映像出力へ）：1.0V _{p-p} 、75Ω（自動終端） S-ジャックタイプ、CVBS	
3. 映像出力	モニター2出力 SPOT：1.0V _{p-p} 、75Ω（自動終端）、S-ジャックタイプ、CVBS SLAVE：1.0V _{p-p} 、75Ω（自動終端）、S-ジャックタイプ、CVBS VCR 1出力：1.0V _{p-p} 、75Ω（自動終端）、S-ジャックタイプ、CVBS	
4. 音声入力	カメラ8入力：RJ-45タイプ VCR 1入力（音声出力-VCR）：S-ジャックタイプ	
5. 音声出力	スポット音声 VCR音声	
6. アラーム/モーションの特徴： アラームボックス/カメラへ接続	A/O（HOT、COLD）：リレーアクティブ A/R（アラームリセット）：オープンコレクター“L”レベル、パルス幅 =150ms以上 アラーム保持時間：5秒、15秒、30秒、1分、3分、5分、10分、20分、 30分またはAUTO。AUTOを選択すると、アラ ームトリガーが信号を受けている間、アラーム状 態になる	
7. シーケンス	01秒～30秒の間で選択	
8. イベント再生	アラーム/モーション/ロス：最大16フレーム/チャンネル ドアベル：最大8フレーム	
9. リスト	アラーム/ロス/モーション：最大50 ドアベル：イベントのみ1フレーム	
10. マルチ画面	全画面、4、8、9、16、ズーム、PIP	
11. 水平解像度	400TVライン以上（LIVEモード全画面）	
12. 設定の記憶	5年以上	
13. 動作温度	0℃ ～ 40℃	
14. 内蔵時計誤差	±1分/月以内	
15. CRT	21"フラットCRT	15"フラットCRT
16. 外形寸法(W×D×H(mm))	520mm×509mm×486mm	388mm×459mm×379mm
17. 重量	28kg（正味） 32.5kg（梱包時）	15.2kg（正味） 18.5kg（梱包時）
18. 消費電力	製品の裏側のラベルをお?みください。	
19. 映像システム	SMO-210TRN/150TRN：NTSC映像システム	

トラブルシューティング

「故障かな？」と思う前に下の表をご確認下さい。表の項目をチェックすることで問題が解決する場合もあります。

電源が供給されない	<ul style="list-style-type: none">・プラグがコンセントに正しく接続されているか確認して下さい。・電源コードをチェックしてください。
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none">・カメラ、付属品、外部モニターの接続を確認して下さい。
記録できない	<ul style="list-style-type: none">・ビデオデッキの映像入力ポートと本システムの付属品の映像出力ポートが正しく接続されていることを確認して下さい。・ビデオデッキに挿入されているテープが録画可能であるか確認して下さい。・タイムラプスモードで録画する場合、タイムラプスビデオのRECTリガー出力ポートが正しくVCRアクセサリーのトリガーポート（6ピンVCRアクセサリー）に正しく接続されているか確認して下さい。
再生できない	<ul style="list-style-type: none">・ビデオデッキの映像出力ポートとVCRアクセサリー映像入力ポートが正しく接続されているか確認して下さい。・ディスプレイモードが再生モードまたはトリプレックスモードであるか確認して下さい。
オートシーケンス切替モード 画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none">・画面がLIVEモードであるか確認して下さい。・設定メニューの"シーケンス"の時間が正しく設定されているか確認して下さい。

問題が解決しない場合は、お買い上げ店かサービスセンターまで問い合わせ下さい。

注

問題がビデオデッキの録画または再生と関係している場合は、ビデオデッキも確認して下さい。

メモ



Part No. : AA68-03222A-00
Printed in Korea